

Rainbow

レインボー

第15号

2025年9月発行

人形劇“ブレーメンのおんがくたい”がやってきた！！



4月23日（水）、日産労連様の福祉活動の一環として、人形劇“ブレーメンのおんがくたい”が当センターにて公演していただきました。

各病棟や通園の中心に多くの利用者さんが観劇し、本当に大盛り上がり！！で、特に子供たちは声を張り上げて問いに答えたり、手を挙げてアピールしたりと全力で楽しんでいて、とても微笑ましい時間を過ごすことができました。

公演後には、「また、会いたい！！」と話す子供たちの笑顔には、再会を心から楽しみにしている気持ちが溢れていました。

日産労連様、「おはなしキャラバン“つばさ”」の皆様、本当にありがとうございました！！

～目次～

- | | |
|-------------|-----|
| ・人形劇がやってきた！ | 表紙 |
| ・病棟便り | 2P |
| ・職員紹介 | 3P |
| ・おしらせ | 4P～ |



病棟便り

1 A 病棟

とある日の療育活動の一コマです。

この日は、イースターエッグ探しゲームを行いました！！

本物の卵を用いることは出来なかったのですが、紙に卵を書いて、その上に各々好きなカラーを用いて可愛く仕上げたものを、所々に隠して探し当てるというゲームです。



1 B 病棟

梅雨入り前の5月下旬、1B病棟では裏庭で自然体験を行いました。

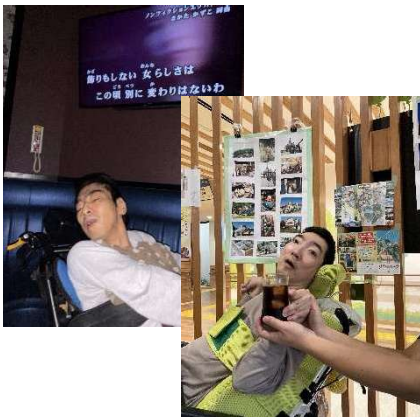
山あいを流れる心地よいそよ風に揺られながら、みんなで落ち葉を拾ったり、お花を摘んだりし、それを1枚のアートに仕立てました。



2 A 病棟

2A病棟では療育活動の一環として、カラオケと喫茶店に外出しました♪

喫茶店では甘いデザートやドリンクを楽しみ、カラオケではそれぞれが大好きな歌を歌って笑顔溢れる時間になりました！外出はちょっとした冒険。実際に体験することで得られる笑顔はやっぱり一味違います。



2 B 病棟

2Bでは、「ナイトプール」を行いました。といっても、実際には日中に棟内での実施です。大きなビニールプールの中には、たっぷり水を入れた袋をたくさん準備。その後、棟内全体を暗めにしてムービングライトを優しく照らし、光のきらめきを楽しみながら、適温の水の感触を体で感じていただきました。



事務部長、副看護部長、療育支援課長 就任のご挨拶



事務部長 高橋

この4月に愛知県から派遣され三河青い鳥医療療育センターに赴任しました。

県では、県民生活部門、企画部門、内部管理部門、産業振興部門、保健福祉部門と多岐にわたる部門の業務に携わったほか、大阪府庁や大学院への派遣も経験しました。

新しい職場に少しでも早くなじみ、これまで培った知識、経験を生かしていきたいと考えております。

趣味は月並みですが、旅行、読書です。旅行は海外・国内とも好きですが、海外は南極大陸以外の5大陸、35か国を訪問しています。これまで印象に残ったものは、アルゼンチン・チリ南部にまたがるパタゴニア地方の氷河、大自然の風景と、フィンランド北部のラップランド地方で見たオーロラです。読書は現在通勤に片道1時間40分かかるため、その時間を活用して、毎日3冊程度読んでいます。

利用者様やそのご家族様、当センターを支える職員のため、役立ちたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

事務部長 高橋



副看護部長 大久保

4月より副看護部長に就任いたしました大久保ひとみと申します。

副看護部長という大役を引き継ぎ、重責に身の引き締まる思いで日々を過ごしております。

センターの理念のもと、利用者さまへの思いやりの心を持ち、安全と安心、信頼を高める看護・療育を提供していきたいと考えております。

私事で恐縮ですが平成10年に第二青い鳥学園に就職し今まで障害を持った方々の看護・療育に携わってきました。振り返ってみると本当にたくさんの事を学ばせていただき今の自分があると実感しております。これまでの経験を活かして利用者様・ご家族の思いに寄り添い、日々の生活が楽しく豊かなものになるよう努めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いします。

副看護部長 大久保



療育支援課長 山本

愛知県を退職し、2025年4月から三河青い鳥医療療育センターに赴任し、第二のスタートとなりました。

これまで、行政マンとして、三河山間部の県立高校の事務室を出発点に、健康づくり施設、市町村福祉事務所や保健医療関係での経験を重ね、直前は東三河福祉相談センターの勤務でした。微力でございますが、気分も一心に、利用者や職員の皆様のために役割を果たしてまいります。

プライベートな面では、家族5人と老犬1匹とのんびりと生活しており、種目を問わず主に球技のスポーツ観戦が好きですが、他に趣味らしいものもなく、休日は概ね自らの健康づくりを兼ねて、こじんまりと家庭菜園的な作業をしています。

利用者様はじめ、皆様の笑顔と元気のお手伝いができれば幸いです。よろしくお願いいたします。

療育支援課長 山本



おしらせ

医療型児童発達支援センター 園児募集中！

医療型児童発達支援センター（通園）では、園児を募集しています。

Q医療型児童発達支援センターって、どんな所？

A.未歩行のお子さんや、呼吸器などを使っている医療的ケアの必要なお子さんが保護者の方と一緒に通う所です。保育・リハビリ・医療の総合的療育を行い、お子さんの健やかな成長と発達を促します。

入園をお考えの方には、体験保育も受け付けております。

気になった方は、お気軽にご連絡下さい。

お問合せ：0564-64-7980（通園担当）



令和7年度 みかわ青い鳥まつり 開催日時決定！



令和7年度のみかわ青い鳥まつり開催日時が 10月4日（土）13:00-16:30 に決定しました。

今年も職員考案のアトラクションや、入所者様による演芸会、模擬店やキッチンカーの出店などを予定しています。さらに今年は、人気アニメのフィギュアや、ぬいぐるみ、おもちゃなどが当たるゲームコーナーの出店も計画しています。皆様のご参加をお待ちしております！！

なお、詳細は決まり次第、当センターのホームページ等でお知らせします。

愛知県三河青い鳥医療療育センターの理念・基本方針

理 念

障害のあるお子さんと重症心身障害のある成人の方を主な対象とした愛知県東部における医療・療育センターとして、利用児・者の人権を尊重し、最良の医療を提供するとともに、多様化する福祉ニーズに的確に応えていきます。

基本方針

- 1 利用者へのサービスの向上
利用児・者に対する医療、療育の充実に努める。
- 2 地域福祉への貢献
地域における療育拠点として、各機関や行政との連携をはかり、利用児・者とその家族を支援する役割を果たしていく。
- 3 人材育成と明るい職場づくり
施設運営の持続的発展のため、職員に研修会等への参加の機会を与え、資質の向上をめざす。また、各職員が業務や運営についての意見が述べやすい環境づくりに努める。
- 4 財政基盤の安定化
安定した財政基盤の確立のため、収入財源の確保に努め、効率的な運営を行う。



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部愛知県済生会
愛知県三河青い鳥医療療育センター

〒444-0002 愛知県岡崎市高隆寺町小屋場9番地3
TEL 0564-64-7980（代表） FAX 0564-64-7981
<https://www.mikawa-aotori.jp/> QRコード⇒

